

基本目標4 子どもなどの安全の確保及び生活環境の整備

(1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進			第2期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6) に向けての改善点及び事業例	令和4年10月1日時点 事業予定・実施状況・予算額等	今年度までの評価	評価理由
実施施策	所管課	概要・方向性				
交通安全教育の推進	町民生活課	春・秋の全国交通安全運動、夏・冬の交通事故防止運動期間中や、町・学校の行事等の機会を捉えて、町交通安全母の会連合会により、保育園児・幼稚園児・小学生を対象として、啓発用品の配布等を行い、交通事故防止の啓発に努めます。	街頭キャンペーンや親子交通安全教室など特定の方々にしか行き届かない啓発事業の見直しを図り、より多くの幼児・児童への啓発ができるよう活動を行っていく。	交通安全運動期間中に東松山警察、交通安全交通事故防止街頭キャンペーンを町内大型店舗駐車場にて実施(春夏秋)。また、秋の運動期間中には、保育園児・幼稚園児を対象に啓発品(反射材等)を配布。12月には冬の街頭キャンペーンを実施予定。 ●交通安全運動啓発品(消耗品) 88,000円	B	コロナ禍ではあったものの、春夏秋冬の交通安全・事故防止街頭キャンペーン(4/13・7/21・9/21・12/6)を開催し、交通安全の普及啓発の推進を図ることができた。また、保育園、幼稚園児を対象に、川島町交通安全母の会役員を通じ、啓発品(交通標識めり絵等)を配布することで、低年齢層の子どもたちへ交通安全教育の向上に努めることができたため。
	教育総務課	警察と連携した交通安全教室の実施、交通指導員・保護者による登校指導、学校教職員による登下校時の安全指導を充実します。また、通学路の安全点検を計画的に行い、関係機関と連携し、速やかに改善を図ります。子どもを交通事故から守るため、警察・県・町・学校・地域・保護者との連携をさらに強化し、交通事故防止対策を推進します。	地域ぐるみの安全対策を継続して実施していく。	各学校ごとに自動車教習所による交通安全教室の実施。 ●予算なし	B	小学校では、スクールガードリーダーを中心として、保護者、地域による登下校の見守り活動を実施している。また、交通安全教室を実施し、道路の歩行の仕方や自転車の正しい乗り方等について学習した。中学校では、スケアードストレイト、自転車点検を定期的に行っている。また、通学路点検を毎年全教職員で実施し、危険箇所等について確認を行なっている。
チャイルドシートの正しい使用の徹底	町民生活課	チャイルドシート着用の向上推進のための啓発用品の配布等を行い、正しい使用方法の徹底を図ります。	保育園と幼稚園を通じて、啓発品等を配布し、チャイルドシート装着率の向上を図っていく。	埼玉県では、「チャイルドシート・シートベルト着用促進運動」を8月に実施しているが、これに併せて、各保育園の保護者あてに、子育て支援課・東松山警察連携し、チラシ・啓発品等を配布。 ●交通安全運動啓発品(消耗品) 88,000円	B	県の「シートベルト・チャイルドシート着用促進月間(8月)」に併せ、子育て支援課、(けやき保育園、東松山警察と連携し、夕方のお迎え時間帯に、保護者へ啓発チラシと啓発品(反射材ストラップ)を配布(8/22・8/24)することで、着用率向上に一定の効果があったと考えられるため。
	子育て支援課		保育園の保護者だけでなく、かわみんハウス来館者等へチャイルドシートの正しい使用方法について周知することを検討していく。	町民生活課と連動し、8月に町立保育園保護者へチャイルドシートの使用方法についての啓発チラシ・啓発品を配布した。かわみんハウスについては現時点で周知を行っていないため、啓発チラシを配布する等方法を検討する。 ●予算なし	A	保育園において、チャイルドシートの使用方法について、町民生活課・東松山警察と連動して保護者に直接啓発品等をお渡しした。また各園の4、5歳児を対象とした交通安全教室を実施できた。
自転車の安全利用の推進	教育総務課	小・中学校において自転車安全利用指導員を中心に自転車の交通ルールや安全な乗り方を指導し、自転車の安全利用を推進します。また、自転車賠償責任保険への加入を促進します。	事業を継続して行い、地域、学校、家庭の連携を検討していく。	自転車安全利用指導員による指導と自転車総合賠償保険へ川島町立中学校生徒の全員加入を継続。 ●自転車保険料 610,000円(1人あたり1,320円) ●通学用ヘルメット支給 730,840円(1人あたり4,840円)	A	自転車安全利用指導員が、自転車の交通ルールや安全な乗り方を指導している。なお、町立中学校に通う中学生は、自転車賠償保険に100%加入し、通学時に使用するヘルメットを支給した。

(2) 子どもを犯罪などの被害から守るための活動の推進			第2期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6)に向けての改善点及び事業例	令和4年10月1日時点 事業予定・実施状況・予算額等	今年度までの評価	評価理由
実施施策	所管課	概要・方向性				
公園施設などにおける死角をなくして犯罪の未然防止	まち整備課	公園施設などにおける外部からの死角をなくし、子どもの安全を確保し、犯罪の未然防止に努めます。児童遊園地へ防犯カメラを設置するための補助金を交付します。	引続き、樹木剪定等を行い、犯罪未然防止に努めていく。	シルバー人材センターにより、定期的に園内の除草や中低木の剪定を実施している。(平成の森公園、八幡公園、かわじま公園、みしま公園) ●22,170,000円	B	定期的または、公園利用者や近隣住民からの要望による、業者委託、担当職員による速やかな植栽の維持管理を行った。 ・平成の森公園及び八幡公園等保守管理業務委託 ・下伊草公園中低木剪定業務委託
	子育て支援課		補助金制度の周知について、全体区長会で説明することを検討していく。	来年度、全児童遊園地の安全点検を行う。そのため、今年度は該当区長へ修繕確認の通知を行っていない。 ●児童遊園地修理等補助金 250,000円	C	今年度は修繕の要望はきていない。来年度、全児童遊園地の安全点検を行う旨を全体区長会で周知する。
防犯灯の整備の推進	町民生活課	安心して暮らせる地域社会を目指し、夜間の犯罪を防止するため、地域住民からの要望を鑑み、防犯灯の設置を推進します。	防犯灯設置要綱に基づき、区長からの申請はもちろん、土地開発に係る防犯灯の設置も積極的に推進していく。	設置申請のあった防犯灯については、設置要綱(電柱間隔等)に基づき内容を審査し、必要な場所に設置することで、安心して暮らせる地域社会、夜間の犯罪防止に寄与している。 10月1日現在申請件数8件(7件可:1件否) ●528,000円	A	申請のあった防犯灯については、防犯灯設置要綱に基づき、現場確認したうえで、必要と認められる箇所に設置し、夜間の犯罪防止に寄与することが出来たため。 ※防犯灯設置数10基(うち1件については、交通事故による破損撤去、再設置。)
こども110番の家協力者連絡会	総務課	子どもが犯罪や事故の被害に遭わないように家庭、学校、地域、警察及び関係機関が一体となった活動を推進し、子どもの安全を守ります。また、地域安全防犯大会への参加や研修などを行い、地域ぐるみの防犯活動を推進します。	警察や関係機関との連携を更に密にし、地域防犯活動の推進を図っていく。	こども110番の家協力者連絡会会員の登録促進するとともに、県防犯出前講座を受講する予定。また、児童との信頼関係を築く為、あいさつ運動を1月に実施する予定。 ●予算なし	B	令和5年1月に、こども110番の家協力者連絡会会員と児童との信頼関係を築くことや地域における防犯意識の向上を目的とした「あいさつ運動」を実施した。また、東松山警察署による防犯講座を開催し、救助を求めている際の対応方法などを学んだ。
見守り活動の推進	総務課	自らの地域は、自らが守るという連帯意識のもとに、防犯パトロール組織や見守り隊のボランティアによる見守り活動を推進し、子どもたちの安全や犯罪被害に遭わないように努めます。	継続的に見守り活動が実施できるよう、活動団体等への支援を行っていく。	地域防犯活動団体の活動支援として、防犯パトロール用品の購入、配布を実施。 ●364,000円	B	自治会に対する防犯のぼり旗の配布や振り込め詐欺防止を目的としたポケットティッシュの配布等を実施し、地域における防犯意識の向上に取り組んだ。

(3) 被害に遭った子どもの保護の推進			第2期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6)に向けての改善点及び事業例	令和4年10月1日時点 事業予定・実施状況・予算額等	今年度までの評価	評価理由
実施施策	所管課	概要・方向性				
被害に遭った子どものケアの推進	子育て支援課	児童相談所、関係機関と連携をとり、事例に応じて役割分担をし、きめ細やかなケアを行います。また、状況に応じて適切な専門機関につなげるように支援を行います。	市町村専門員を月1回派遣していただき、事例に応じた対応を指導していただき、関係機関と連携して対応していく。	市町村専門員の派遣時に、事例に応じた対応の指導をして頂いている。また派遣時以外においてもメールにより随時相談しながら、対応方法を検討している。 ●予算なし	A	定期的に対協実務者会議を開催したり、随時関係機関と連絡を取り合う等、支援方法を検討しながら事例対応にあたった。
	教育総務課		事業を継続して実施し、関係機関との更なる連携を図っていく。	スクールカウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカー、さわやか相談員、各校教育相談主任、スクーリング・サポートセンターが情報共有を目的とした会議を毎月開催し、連携を図っている。 ●予算なし	B	スクーリング・サポートセンターの相談員が定期的に各学校を訪問し、児童生徒の様子を確認しながら支援を行っている。また、カウンセリングスタッフ会議を毎月開催し、学校、さわやか相談員、サポートセンター相談員、SC、SSWが連携を図っている。

(4) 安全な道路交通環境の整備			第2期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6)に向けての改善点及び事業例	令和4年10月1日時点 事業予定・実施状況・予算額等	今年度までの評価	評価理由
実施施策	所管課	概要・方向性				
安全な道路交通環境の整備	まち整備課	実施計画に基づき、歩行者などが安全で安心して通行できる歩道整備などを計画的に進めます。	町道1-2号線の交差点協議等の調整と、用地買収を実施を計画中。	町道1-2号線道路整備工事及び用地買収を年度内に実施。 ●29,060,000円	C	町道1-2号線道路整備工事は年度内に完成する見込みである。用地交渉については、1件交渉難航中。

今年度までの評価の基準……A:順調(達成率91~100%) B:概ね順調(同81~90%) C:ふつう(同71~80%) D:やや遅延(同61~70%) E:かなり遅延(同~60%)

(5) 安心して外出できる環境の整備			第2期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6) に向けての改善点及び事業例	令和4年10月1日時点 事業予定・実施状況・予算額等	今年度までの評価	評価理由
実施施策	所管課	概要・方向性				
公共施設、公共交通機関、建築物などのユニバーサルデザイン化	子育て支援課	公共施設などの整備におけるバリアフリーなどについては「埼玉県福祉のまちづくり条例」の普及推進に努めるとともに、公共施設の整備・改修を実施する際は、計画的に進めます。	子育て支援課で管理している施設 ・子育て支援総合センター ・けやき保育園 ・さくら保育園 多くの方に使用しやすい施設整備、改修を意識し計画的に進めていく。	来年度子育て支援総合センターにインクルーシブ遊具の設置を行うため、検討を進めている。保育園の遊具は怪我が起きないように適宜修繕を行う。 ●子育て支援総合センター施設修繕費 1,847,000円 ●保育園施設修繕費 1,121,000円	B	園児や利用者が怪我をせず快適に過ごせるよう、施設や遊具の修繕を行った。また、予算の都合で修繕ができない遊具は口頭やバリアード等で使用不可を周知し、利用できないようにした。新型コロナ対策のため、子育て支援総合センターの一部蛇口を非接触型のものに交換した。
	まち整備課		引続き公園施設内の修繕等の対応に努めたい。また今年度に引き続き、八幡地内の都市公園外灯の交換工事等を実施していく。	八幡公園内外灯交換工事を年度内に実施。 ●561,000円	B	公園内のバリアフリー化のため工事等を実施した八幡公園北公園外灯交換工事(3月完了見込)八幡運動公園平板撤去工事(段差解消工事)完了 " 園路改修工事(段差解消工事)完了 平成の森公園管理棟前モルタル修繕(段差解消)完了
	政策推進課		庁舎をはじめとする多くの公共施設について、引き続き、多くの方に使いやすい施設改修や維持管理を計画的に進めていく。	ユニバーサルデザイン化に特化した予算はないが、来場される方のご不便とならないよう、維持管理費用において、できるところから対応していく。 ●予算なし	B	公共施設の維持管理と必要に応じた施設修繕を行い、適切な管理を行うことができた。庁舎・コミュニティセンター・図書館の車いす使用者用駐車スペース計10か所の再塗装を行い、利用者の視認性を高めた。
	健康福祉課		健康福祉課で管理している ・老人福祉センター ・デイサービスセンター ・保健センター 今後も引き続き、多くの方に使いやすい施設整備、改修を意識し計画的に進めていく。	改修の予定は無いが、必要に応じ修繕を実施するなど、誰もが使いやすい施設となるよう維持している。 ●予算なし	B	改修は発生しなかったが、必要に応じ修繕を実施する体制は整えており、誰もが使いやすい施設となるよう維持することができた。
子育てにやさしいトイレなどの整備	子育て支援課	既存の公共施設の改修などにより、子どもサイズの便器・手洗い器、ベビーベッド、ベビーチェア、ゆったりとした化粧室、授乳室の設置などの子育て世帯が安心して利用できるトイレなどの整備を進めます。	トイレ、授乳室以外の子育て世帯が安心できる設備の整備について検討していく。	今年度中にかわみんハウスの複数の手洗場を、非接触型に交換する。他にも、子育て世帯が利用できる設備について指定管理者に提案するなどしている。 ●子育て支援総合センター施設修繕費 1,847,000円	B	園児や利用者が怪我をせず快適に過ごせるよう、施設や遊具の修繕を行った。また、予算の都合で修繕ができない遊具は口頭やバリアード等で使用不可を周知し、利用できないようにした。新型コロナ対策のため、子育て支援総合センターの一部蛇口を非接触型のものに交換した。
	生涯学習課		今後もトイレが清潔に保たれるように維持管理していく。	業務委託業者の履行状況をしっかり確認し、今後もトイレが清潔に保たれるように維持管理していく。 ●予算不明	A	委託業者により、各施設のトイレは清潔に保たれている。
	まち整備課		アンケートを実施し、要望等があれば、検討していく方向である。	昨年度平成の森公園トイレの子ども用便座、ベビーベッドを改修済み。新たな意見要望等なし。 ●予算なし	C	設置、整備に対する新たな意見、要望なし 必要性を含め、引き続き検討していく

(6) 安全・安心まちづくりの推進			第2期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6) に向けての改善点及び事業例	令和4年10月1日時点 事業予定・実施状況・予算額等	今年度までの評価	評価理由
実施施策	所管課	概要・方向性				
公園など歩行エリア安全確保のための整備・改修	まち整備課	公園施設内歩行エリアにおける安全を確保するため、整備並びに危険箇所の点検・改修に努めます。	引続き、危険箇所及び緊急修繕等の実施。また、平成の森公園リニューアルに向けての検討を行う。	台風等の強風による倒木を未然に防ぐため、危険樹木の伐採を中心に高木剪定を行う。 ●1,000,000円	B	公園内の危険箇所の解消のため工事等を実施した八幡運動公園平板撤去工事(段差解消工事)完了 " 園路改修工事(段差解消工事)完了 平成の森公園管理棟前モルタル修繕(段差解消)完了

今年度までの評価の基準……A:順調(達成率91~100%) B:概ね順調(同81~90%) C:ふつう(同71~80%) D:やや遅延(同61~70%) E:かなり遅延(同~60%)